

教科	音楽	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
無理のない自然な声の出し方で歌おう ○校歌 ○青空へのぼろう	3	表現するための基礎的な技能や奏法を身に付け、曲想を感じ取って表現する。	声の音色や響き、音域と声の出し方との関わりについて理解している。 音域に応じた発声、母音の発音、歌う姿勢などの技能を身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(声の音色や響き、音域と声の出し方との関わり)や技能(音域に応じた発声、母音の発音、歌う姿勢など)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。
弦楽器の豊かな表現を鑑賞しよう ○四季より「春」第1楽章	4	曲想の変化を、形式やソネットと関わらせながら聴き取ろう。	曲想とリトルネッコ形式やソネットとの関わりについて理解している。	鑑賞に関わる知識(曲想とリトルネッコ形式やソネットとの関わり)を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
構成や全体のまとまりを考えながら音楽をつくらう ○くいしんぼうのラップ	4	言葉のリズム意識して、言葉のつなげ方や重ね方、全体のまとまりを工夫して音楽をつくる。	言葉のリズムの反復や重なり方などの特徴を理解している。 テーマに沿って言葉のリズムを感じ取りながら擬音語・擬声語などを選択する技能を身に付けている。	創作表現に関わる知識(言葉のリズムの反復や重なり方などの特徴)や技能(テーマに沿って言葉のリズムを感じ取りながら擬音語・擬声語などを選択する技能)を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫している。	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
曲の形式を生かして歌おう ○夏の思い出	3	曲想と形式との関わりを理解して、それらを生かした表現をする。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

教科	音楽	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本語の抑揚を生かした旋律をつくらう ○日本の歌	4	言葉のリズムやつながり方、まとまりを工夫して、短い旋律をつくらう。	言葉の抑揚やリズムによる音のつながり方の特徴を理解している。 ○歌詞の言葉の抑揚に基づいて音を選択する技能を身に付けている。	創作表現に関わる知識(言葉の抑揚やリズムによる音のつながり方の特徴)や技能(歌詞の言葉の抑揚に基づいて音を選択する技能)を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫している。	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
音楽のまとまりを生かして合わせて歌おう ○歌うための準備 ○夢の世界を ○合唱コンクール自由曲	10	曲全体の構成と自分のパートの役割を理解して歌い、主旋律や曲想の変化を生かして表現を工夫する。	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う技能を身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(曲想と音楽の構造との関わり)や技能(全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
わが国やアジア地域の多様な豊かな声による表現を鑑賞しよう ○日本とアジアの声によるさまざまな表現 ・天台声明 ・八木節 ・江差追分 ・ケチャ ・ホーミー ・布農(ブヌン)族の合唱	2	音楽の特徴や役割を捉え、多様性を考えながら聴き取ろう。	我が国やアジア地域の声による表現の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	鑑賞に関わる知識(我が国やアジア地域の歌唱表現の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性)を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、我が国やアジア地域の声による表現のよさや美しさを味わって聴いている。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、我が国やアジア地域の声による表現のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

教科	音楽	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歌曲の形式の違いを鑑賞しよう ○魔王(シューベルト)	3	物語の進行と曲想の変化の関わりを感じ取り、曲全体の構成を理解して、各登場人物の表現を聴き取る。	歌曲の形式の相違や特徴と歴史的背景との関わりについて理解している。	鑑賞に関わる知識(歌曲の形式の相違や特徴と歴史的背景との関わり)を得たり生かしたりしながら、作曲当時の歌曲の意味や形式の違いについて自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
箏曲の多様な表現を鑑賞しよう ○六段の調	3	箏の音色や平調子の響きを聴き取る。	箏の音色や用いる音階の響き、音楽の構造などの特徴とその多様性について理解している。	鑑賞に関わる知識(箏の音色や用いる音階の響き、音楽の構造などの特徴とその多様性)を得たり生かしたりしながら、箏曲の固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
箏の基本的な奏法を身に付けよう ○練習曲1、2 ○エーデルワイス	4	箏の基本的な奏法を身に付け、それを生かしながら曲想を表現する。	箏の音色と奏法との関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方や縦譜の読み方などの技能を身に付けている。	器楽表現に関わる知識(箏の音色と奏法との関わり)や技能(右手の使い方や縦譜の読み方など)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
感謝を込めて歌おう ○三送会で歌唱する歌 ○卒業式の式歌	5	卒業生に感謝の気持ちをこめて合唱を贈ろう。	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う技能を身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(曲想と音楽の構造との関わり)や技能(全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。